

朝の館内放送

平成30年4月3日
スピーカー 市長

みなさん、おはようございます。
市長の中村健です。

先日、観光親善大使を務めていただいている、和太鼓奏者の山田純平さん発案のもとで制作された、西尾夢太鼓が、西尾信用金庫から寄贈されました。

西尾夢太鼓は、「西尾（240）」にちなみ、高さ240cmを誇る、とても見事な和太鼓です。

当初、発案者である山田純平さんからこの話を聞いた時は、面白いと感じた半面、1,000万円以上かかる制作費用の工面をどうするのか、不安に思ったのも事実でした。

しかし、市内企業を回って協賛を募り、それでも足りなければ、自分で残りの経費を負担してでも、西尾市の新しいシンボルとして、この和太鼓を作りたい。

それが、彼の思いでした。

幸いにも、結果的には、企画に賛同した西尾信用金庫が全額経費を負担し、完成したものを市に寄贈していただいたわけですが、このエピソードから、職員のみなさんにも学んでほしいことがあります。

1つ目は、「西尾市のためにこれがやりたい」という、熱い思い、強い思いを持つこと。

仕事の中でのことはもちろん、時にはそれがプライベートでの活動になっても構いません。

特に、若手職員、中堅職員のみなさんには、そう思える目標を見つけるとともに、情熱を持って、自分に何ができるか考え、行動してほしいと思います。

2つ目は、遊び心を持つこと。

現状を打破する、新しい道を切り開いていくためには、ただ根を詰めて考えていても、総じて良い結果は生まれません。

朝の館内放送

そこで大事になってくるのが、ちょっとした遊び心です。

「こうなったらいいな」と、遊び心を持ちながら考えを巡らすことで、きっと良いアイデアも生まれるでしょうし、何より、自分自身も良い心の状態で臨むことができます。

今後、そうした熱い思いが込められ、面白味も感じられるような提案を、市の施策として結び付けていけるような仕組みづくりも考えています。

夢や希望の持てる、ワクワクする西尾市を創っていくために、「チーム西尾市」の一員として、職員みなさんの主体的・積極的な行動を心より期待しています。